

ライオン通信



<URL> <http://www.kooge.jp/> <e-mail> info@kooge.jp

Vol.46 平成19年10月10日発行 (月刊誌)

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0427 鳥取県八頭郡八頭町奥谷 206-1
TEL(0858)72-1154 FAX(0858)72-1614

あんしんバリアー工法 振動機能付きスリット側溝

みなさんこんにちは。郡家コンクリートの山根です。

私は通勤や仕事で毎日車を運転しています。車なしの生活は考えられません。みなさんの中にも同様の方がたくさんいらっしゃると思います。もちろん事故を起こさないよう細心の注意を払っていますが、いつ事故に会うか誰も予想できません。被害者になるのは嫌ですが、加害者になった場合もエライことになります。

一般的に交通事故の死者数は24時間以内に死亡した人のことで、それ以上時間が経過した場合の死者は含まれていません。我国の交通事故による『24時間死者数』は昭和45年の1万6,765人をピークに減少し、平成17年は6,871人と大きく減少していますが、依然として高水準にあります。(参考 平成17年 交通事故発生件数 933,828件、死傷者数 1,163,504人)

政府はその対策のため中央交通安全対策会議専門委員会を設け、第8次交通安全基本計画を作りました。

その内容は「平成24年までに交通事故死者数を5,000人以下とし、世界一安全な道路交通の実現を目指す」というものです。日本は交通事故死者に占める歩行者の割合が3割を超え、欧米諸国と比較して高く、特に高齢者では歩行者の割合が約5割、15歳以下の子供では約4割を占めている。そのため特に高齢者や子供にとって身近な道路(通学路、生活道路など)の歩道整備を進めることが重要とされ以下の要点を対策の基本としています。

道路環境の整備

(安全・安心な歩行空間が確保された人 優先の道路環境整備を強化する)

- ・ 通学路等の歩道整備等の推進
- ・ あんしん歩行エリア
- ・ 生活道路事故抑止対策マニュアル
- ・ 暮らしの道ゾーン
- ・ 優先度明示方式による交通事故対策
- ・ 事故危険箇所対策
- ・ 高度道路交通システムの活用

道路用製品を扱う企業として、歩行者に安全な空間を提供、または運転者にも事故を早めに気付いてもらうには何かいい方法がないかと考えていました。



安全な通学路♪

前置きが長くなりましたが、今回ご紹介するのは岡山県の(有)インパクトさんが開発した『あんしんバリアー工法』です。

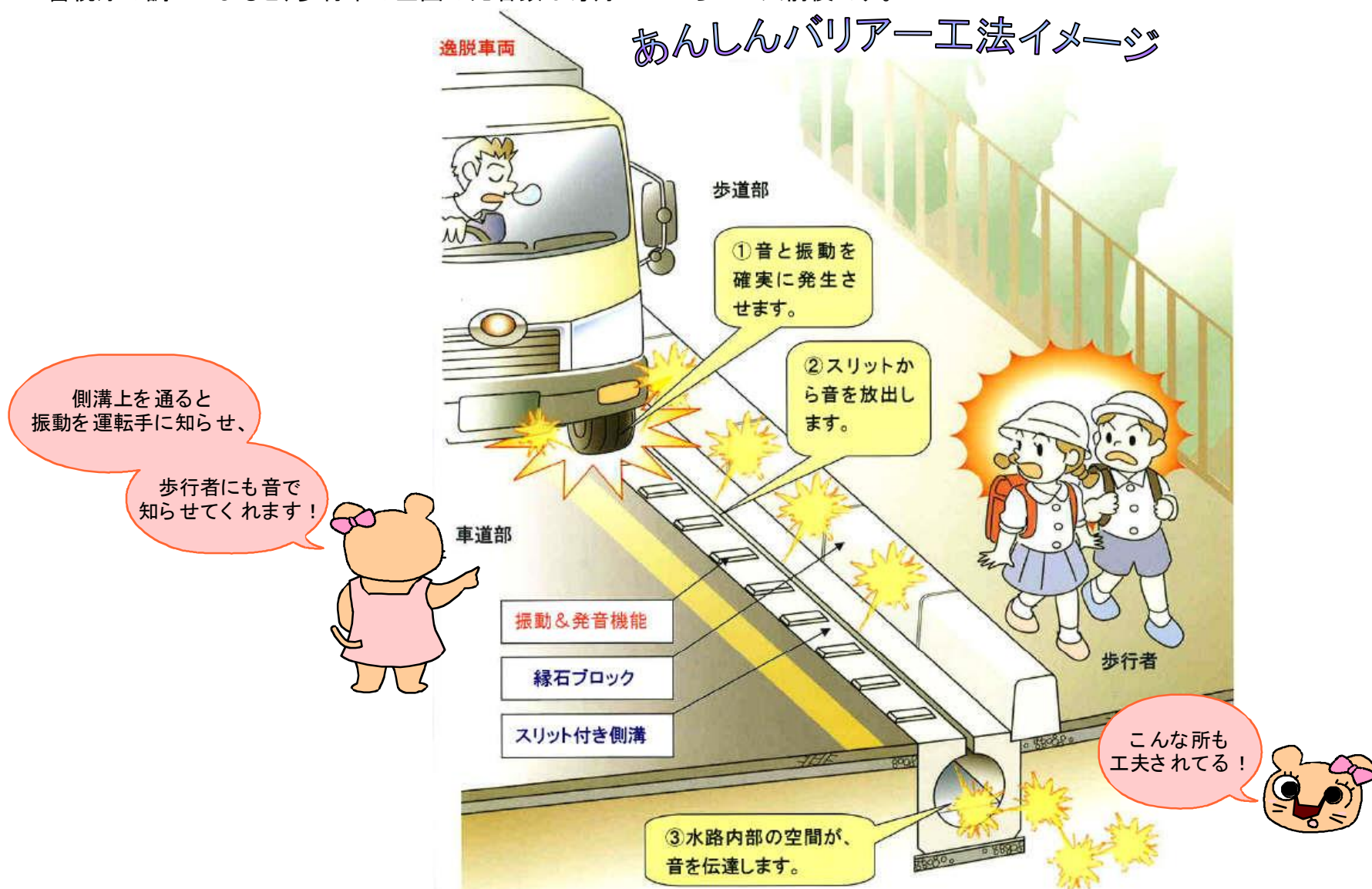
『あんしんバリアー工法』とは、歩行者および逸脱車両のドライバーに危険を知らせる音と振動(バイブレーション)機能付スリット側溝を用いた「交通事故防止及び軽減のための技術」です。

居眠り運転等で逸脱した車両が歩道に近づいた時、歩行者に走行音で素早く危険を知らせると同時に、運転者にも大きな振動で注意を促すため、双方に高い安全性を提供する優れた工法です。

しかもこの機能に要する工事費が全く、またはほとんど発生しない**コスト縮減工法**です。

警視庁の調べによると、歩行中の全国の死者数は毎月 150 から 300 人前後です。

あんしんバリアー工法イメージ



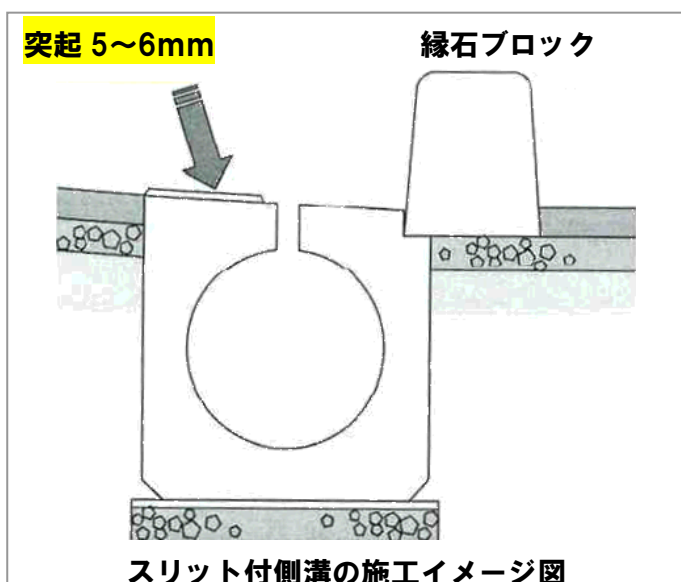
なお、『降雪地で、除雪車が道路の**除雪作業を行なう時**、ショベルローダーの除雪プレートで突起を削る恐れはないでしょうか。』という質問が多いのですが**突起が削られることは無いと考えられます。**

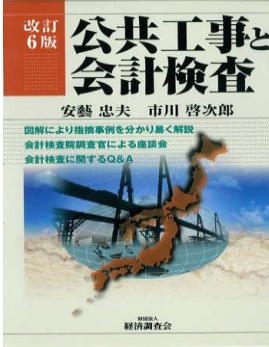
その理由は、

1. 側溝は一般的に、道路の最も端部に位置し、しかも一番低い場所に設置されているため、突起も除雪プレートの影響を一番受けにくい所にあります。
2. 側溝の上部は一般的に、車道部の勾配よりきつい勾配で歩道側に傾斜しているものが多く、除雪プレートの接触し難い構造になっています。
3. **突起の高さは 5~6mm**のわずかな高さであること、また突起は側溝本体と一体化されており、相当の力が作用しないと削られないこととなります。

ぜひ、採用をご検討下さい。

有限会社 インパクト
岡山県にある「コンクリート二次製品」を使用した「新しい土木工法」の開発を行っている企業です
ホームページ:<http://www.impact-inc.jp/>





会計検査Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の安藝忠夫氏からいただいた会計検査報告から、趣向を変えまして、「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければなれば幸いです(^-^)/

今月のこぼれ話： 調査官に夜逃げの噂

毎年、秋は会計検査院にとって大変忙しい季節です。1年間の検査の成果を検査報告にまとめるための業務が連日続きます。

それぞれの検査課は、年初以来の検査で取り組んできたいろいろな問題を、その年の検査報告に見事結実させるべく必死の努力を重ねます。

受検側に発遣する質問文書の内容は、すべて担当局長のもとで、一字一句厳密に審議されます。質問文書の発遣が一段落すると、各局で検査報告委員会がいっせいに開催され、案件の審議が始まります。並行して、質問書に対する受検側の回答文をめぐる折衝です。何とか指摘を回避しようとする受検側との厳しい、激しいやりとりが連日繰り広げられます。

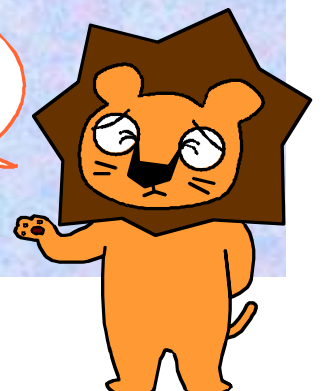
この時期は、マスコミ各社も会計検査院に注目。各社とも会計検査院担当記者を配置して、他社に先駆けてのスクープをねらいます。会計検査院側も情報の管理に神経を尖らせます。検査途中での検査内容の漏洩は受検側からの信頼を損ない、その後の折衝を困難にしてしまいます。

しかし、記者の側も必死です。担当者自宅への夜討ち、朝駆けは頻繁に行われますが、いったん自宅に入ってしまうと記者がチャイムを鳴らしても出てくる人はまずいません。

そこで、官舎・マンションの入口や下車駅の改札口での待ち伏せなどをして話を聞きだそうとしますが、これも警戒されてダメになると、朝の出勤時の待ち伏せ、さらには休日昼間の訪問など次々手を打ってきます。

ある年、毎夜遅くに、自宅近くで黒塗りハイヤーの待ち伏せを受けた調査官は、近所の人に、サラ金の脅しを受けているらしいを誤解され。入居して間もない新居を近く夜逃げするのではないかと噂されたとのことでした。

有名人並みに
大変だね…。





レオちゃんの製品紹介コーナー



◆◆◆◆ 特殊品製造技術のご紹介 ◆◆◆◆

こんにちは。ライオン通信のレオちゃんです。
 やっと秋らしい気候になってきましたね。



今回は、コンクリート製品では製造不可能と思われる、逆テーパ製品の製造技術のご紹介です。

今回はわが社の特殊品製造技術の中、従来コンクリート製品では逆テーパ製品や複雑な凹凸製品は製造不可能と考えられていましたが、特殊技術により、こんな物(写真参照)をモルタルで造ってみました。

右の写真をご覧ください、工具ボックス手前にバラバラと配置しております、トンカチ・スパナ・ボルト、ナット…これらはモルタルで製造しています。ボックスの中、奥側に見えるのがモデルとなった工具類です。ナット・ペンチ等のギザギザも写真では見づらいかもしれませんが再現されています。



また、凸凹がきれいで有名な“佐治石”もコンクリートで造ってみました。

中央の4ヶ、白っぽい「石」に見えるのがコンクリート製品です。細かな凸凹までよく再現されていると思いませんか？

周囲に置いてある黒っぽい本物と比較してみてください。カラーコンクリートで色付けも可能なので、パッと見はわからないかも。興味の沸いた方は是非お気軽にお問い合わせください。

【佐治石】

庭石や盆石として全国的に有名な佐治石は日本三銘石のひとつとして人気があります。永年、鳥取県東部の千代川上流に位置する佐治川の激流に洗われ凹凸に富んだその美しい石姿は「天下一の名石」として称されています。

☆☆☆☆ ご希望の方はご連絡いただけましたら 先着順にプレゼントいたします ☆☆☆☆

◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話: 0858-73-0500 までお気軽にどうぞ!

FAX : 0858-73-0535 E-mail : info@kooge.jp



◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

インパクトさんが開発した『あんしんバリアー工法』いかがだったでしょうか。以前からセンターラインで音の出るバイブララインはありますが、効果があることは実証済みなのに、通常のタイプより費用がかかりすぎるため普及の速度はゆっくりです。

当社は歩道のバリアフリーを推進するため『かんたん側溝』の縁石付両面スリットを目玉商品として PR していますが、『かんたん側溝+あんしんバリアー工法』が良いと考えています。ぜひみなさんのご意見をお聞かせ下さい。(山根)



<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>info@kooge.jp